

報道関係者各位

プレスリリース

2018年 10月 29日



イクス株式会社

イクス株式会社、ITP2.0に対応した Cookie にも FingerPrint にも依存しない新たな計測システムをリリース。外部提供も可能に

イクス株式会社(本社:東京都国分寺市、代表取締役社長:野田大智)は、ITP2.0に対応した、Cookie にも FingerPrint にも依存しない新たな計測システムを開発致しました。また、当システムを、アドネットワーク (以下 ADNW)、DSP、SSP、ASP、DMP など、あらゆる広告・マーケティングサービスに向けて外部提供することも可能とし、10月29日より公開致します。

背景・経緯

2017年、アップル社は Safari11.0 をリリースし、「Intelligent Tracking Prevention (以下、ITP)」と呼ばれる機能を追加しました。ITP とは、「サードパーティーCookie」と呼ばれる、端末を識別する技術に制限をかけ、広告の正確な配信や計測に影響を及ぼすものとなります。さらに本年、アップル社がリリースした Safari12.0 において、「ITP2.0」が搭載され、ITP1.0 では Cookie が24時間以内に破棄されていたのに対し、2.0 では即時破棄されるようになり、その制限はさらに厳しいものとなりました。

広告業界での ITP 対策としては、「ファーストパーティ Cookie」や「FingerPrint」と呼ばれる技術を利用することが一般的な中、当社は本年5月、それらの技術に依存しない新たなトラッキングシステムを発表しました。そしてこのたび、ITP2.0 にも対応し、当システムを、ADNW、DSP、SSP、ASP、DMP など、あらゆる広告・マーケティングサービスに向けて提供することも可能と致しました。

概要

当社が開発した新たなトラッキングシステムでは、Cookie や FingerPrint に依存せず、広告の配信やトラッキングを行うことができます。例えば広告のコンバージョン計測において、「ファーストパーティ Cookie」を利用する場合、LP ごとにタグを設置する必要がありますが、当技術では、成果ページにタグを設置するのみで、ITP 機能に対応した形で計測を行うことが可能です。

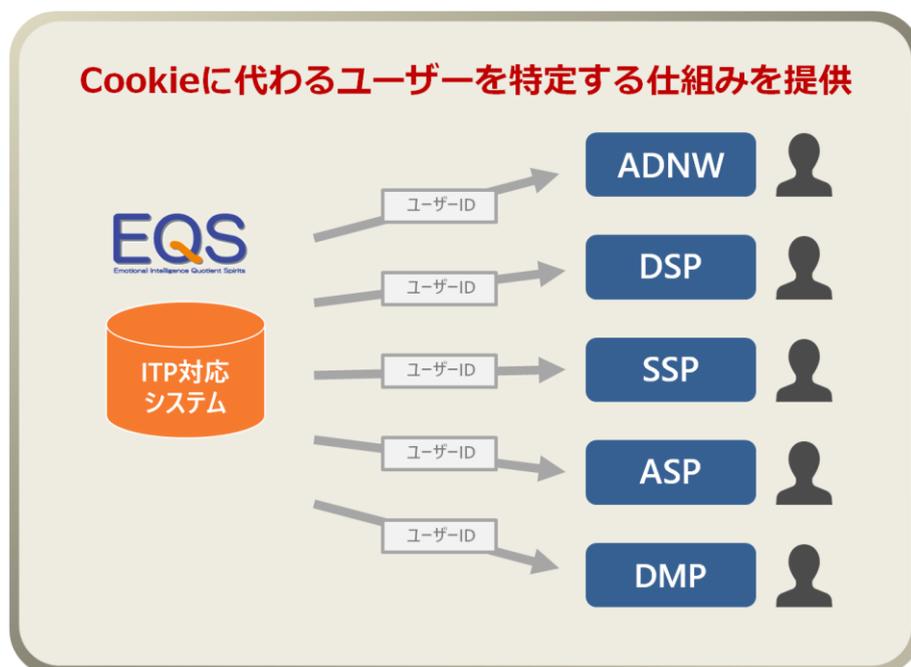
また、FingerPrint によるユーザーの識別は、「特定」ではなくあくまで「推

定」であり、時間の経過に伴い識別が困難になるといった懸念も挙げられていますが、当社の技術においては、ユーザーを一意に特定することが可能となっております。



さらには、当社のトラッキングの仕組みを、ADNW、DSP、SSP、ASP、DMP など、あらゆる広告・マーケティングサービスに向けて提供することも可能と致しました。

当システムでは、ITP2.0においても、複数のサイト間にまたがって一意にユーザーを特定することができるため、リターゲティングやインタレストマッチなど、「ファーストパーティ Cookie」だけでは実現できない仕組みを構築・補完することが可能となっております。



今後の展望

当計測システムを活用した当社の広告効果計測ツール「EQS VIEW（イクスビュー）」を提供するとともに、さまざまな広告システムやマーケティングシステムに当社の計測技術を提供し、ITPの影響を受けているさまざまな企業の課題を解決してまいります。

■会社概要

会社名	イクス株式会社	https://eqs.jp/
所在地	東京都国分寺市本町2丁目12番2号 三井生命国分寺ビル6階	
設立	2004年6月	
代表者	代表取締役社長 野田 大智	
資本金	1億4,800万円（資本準備金含む）	
事業内容	インターネット広告事業、メディア事業、インキュベーション事業	

■本件に関するお問い合わせ先

イクス株式会社
担当：馬屋原
Tel：042-320-8111
E-mail：mayahara@eqs.jp